

第19回かわさきロボット競技大会

開催概要

1. 目的

近年、ものづくり基盤技術は、産業構造の変化や熟練技能者の高齢化、また、若年者のものづくり離れが進み、その衰退が懸念されています。

このため、当財団では、平成6年度から青少年のものづくりに対する関心と理解を深め、これを支える創造性に富んだ人材の育成を図るため「かわさきロボット競技大会」を開催してまいりました。

本大会も来年度で19年目を迎えますが、引き続き、ものづくり都市「川崎」に蓄積された技術や人材をさらに発展・継承させるため、“若者のものづくり登竜門”として、総合技術的なロボットの製作を通じ具体的なものづくりを体験する場の提供し、次世代産業を担う技術者の育成、技術力の向上を図ります。

2. 日時

- Jr. ロボット部門 予選トーナメント 平成24年8月17日(金)
- バトルロボット部門 実機審査会 平成24年8月24日(金)
- バトルロボット部門 予選トーナメント 平成24年8月25日(土)
- バトルロボット部門 決勝トーナメント 平成24年8月26日(日)

3. 会場 川崎市産業振興会館(川崎市幸区堀川町66-20)

4. 内容

ア. バトルロボット部門

- 競技内容 脚・腕構造を持つラジコン型ロボットによる異種格闘技戦
- 競技方式 トーナメント方式(予選 1本勝負、敗者復活戦あり・(決勝 3本勝負)
- 募集数 204チーム(第18回 244チーム・第17回 257チーム)
応募多数の場合別途審査会を行います。

イ. Jr. ロボット部門

- 市内の小中学生を対象に脚・腕構造を持つロボットキットを提供しロボットの基礎知識から、フレームの取付けなど実際の組立作業に至るまでの一連の製作を、講師の指導を受けながら行なう。組上げた機体の製作発表として競技を行なう。
- 製作教室 平成24年6月23日・30日・7月21日・8月11日(計4回)
- 募集数 24チーム

ロボットミニ見本市

- 参加者のニーズと地域産業とのマッチングを図ることを目的にロボット製作・加工技術に関連する企業を対象とした見本市も引き続き出展者を募り開催する。
- 期間 平成 24 年 8 月 25 日～26 日（2 日間）
- 出展社数 6 社程度

5. 主催等

- 共催 川崎市・公益財団法人川崎市産業振興財団
- 運営 第 19 回かわさきロボット競技大会実行委員会
- 後援 NHK横浜放送局・神奈川県・かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会・川崎市教育委員会・経済産業省 関東経済産業局・独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構・社団法人日本ロボット工業会